

OPEN LABO. 追加プログラム決定



5月担当の片岡先生

**「楽しみながら
学んでいました」**

本年度初となるオープンラボが5月14日(日)に開催された。

「私は薬の新しい治療法について、分子薬理学的な方法を用いて研究を行っています。テーマを中高生対象の『なぞとき』に落とし込むため、大学病院での薬剤師の経験から、薬学という分野や、薬剤師の業務を知って欲しくてこの

テーマを作りました。参加者は熱心に耳を傾け、手を動かしてくれましたのでありがたかったです。」と初回を飾ってもらった片岡先生は語る。今回のテーマは「くすりとノーベル賞」という身近なくすりと、遠くの物語であるノーベル賞を掛け合わせたなぞときだ。

「薬剤師の仕事の奥深さが知れて興味深かったです。薬剤師さん谢谢你们！」オープンラボを体験した中高生は90分のプログラムを集中力を切らさず駆け抜けた。

(詳細は2面へ)

くすりに関する4つの「なぞとき」から始まったオープンラボがパワーアップする。6月からは動物に関する「なぞとき」が加わった。「動物のことをもっと知ってもらいたい。オープンラボでは海、陸、分子の世界と幅広い分野を題材に実験中心の講座をご用意しました。なぞときを通じ、さまざまな体験をしながら動物の世界を身近に感じてもらえるはずです。」

と講座を担当する動物危機管理理学科の教員たちは意気込みを見せる。

6月以降のラインナップは下記の通りだ。詳細や申し込み方法は青色のQRコードを読み取って欲しい。

オープンラボはどのようなイベントなのかという問い合わせが相次いだ。1分程度のオープンラボ紹介動画を作成した。下の赤色のQRコードを読み取って欲しい。

6月11日(日)

見えないクスリが見える? TLC分析

覗いてみよう! 海の生き物の世界
NEW



7月16日(日)

五感を使った漢方薬の分類

見えるぞ! DNAの世界
NEW

OPEN LABO.
紹介動画(50秒)



OPEN LABO.
詳細・申込・最新情報

8月11日(金・祝)

高機能患者シミュレーターを使った演習

探せ! 遠くて身近な野生動物
NEW



追加プログラム「動物に関するなぞとき」とは?

6月 「覗いてみよう! 海の生き物の世界」
教科書の中だけじゃつまらない! 高校生物で習うウニ! 人工授精・受精膜形成・発生を観察しよう

7月 「見えるぞ! DNAの世界」
目に見えないのに全てを語るDNA。見える化しちゃえば面白い! DNA抽出実験・親子判定をやってみよう

8月 「探せ! 遠くて身近な野生動物」
会ったことないし関係なくない?・・・意外と関わりあるんです! フィールドに出て、野生動物を身近に感じてみよう



お問合せ先: 千葉科学大学入試広報部
0120-919-126

オープンラボ新聞

発行人
StudioNoguchi

くすりに触れた90分間

どんなテーマだった？

くすりには多くの情報が詰まっている。お医者さんが処方する薬には「刻印」が刻まれている。この刻印を調べれば、薬の情報がわかる。このテーマでは救急搬送された患者さんの持参薬を、この「刻印」を頼りに探すというものだ。くすりは用量用法を誤ると毒になる。さらに、飲み合わせも重要だ。

狭心症治療薬のニトログリセリン製剤と排尿障害治療薬であるタダラフィルとの組み合わせでは、そのくすりが体に害を及ぼす。今回のストーリーで救急搬送された患者さんがそれに相当する。

目新しい情報を前に四苦八苦する参加者だったが、講師の確かなヒントを頼りに患者さんの持参薬を絞り込むという「なぞとき」を達成し安堵の表情を浮かべる。

しかし、オープンラボはココでは終わらない。



ニトログリセリンって何だろう？「爆薬ですか？」

ニトログリセリンはノーベルがダイナマイトに用いたことでも有名であるが、体内で分解されると一酸化窒素（NO）を放出する。NOは血管を広げる効果があり、それを薬として使用すると狭心症の治療薬となる。このNOの作用を解明した科学者がノーベル賞を受賞したのだ。

今回のオープンラボは一見すると高度な講義を受講しているように見えるがそうではない。参加者は「なぞとき」を通じ、目の前の課題に取り組み。取り組んだ先に見えた答えが次の疑問を産む。我々大学の教員が毎日頃行っている研究の姿勢に触れてもらうのもオープンラボの役割だ。

「出てきました」



最後は、頑張った参加者へのご褒美の時間である。錠剤に見立てたチョコやラムネを分包機に入れる。ガチャンガチャンと大きな音を立てて複数のお菓子が一包化された。普段、処方されている薬と同じものが機械から出てくる様子を、参加者たちは真剣な眼差しで見つめていた。

「この袋は案外空気を通します。お菓子は湿気てしまうので早めにお召し上がりください。」さすが、現場で働いてきた薬剤師の先生だ。細部にやさしさを感ずる。

